

平成 26 年度木更津市社会教育委員会議第 2 回定例会 会議録

- 1 会議名 平成 26 年度木更津市社会教育委員会議第 2 回定例会
- 2 開催日時 平成 26 年 10 月 7 日（火）午後 2 時～4 時
- 3 開催場所 木更津市役所 6 階会議室
- 4 出席者氏名 委員：蘇我芳章（議長）、石井徳亮（副議長）、野中洋子（副議長）、伊藤 孝、
榛澤敦子、鈴木利典、宮崎恵子、武田正次、青木 健、吉田裕子、橋本ミチ子、
李 程英、地曳昭裕（13 名）
事務局：初谷幹夫教育長、鹿間和久教育部長、齊藤良二教育部次長、
石井一彦生涯学習課長、佐々木英之主幹、篠田貞明副主幹、堀田かおり主事（7 名）
- 5 議題等
 - (1) 議 事
 - ① 少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について
 - ② 今後の公民館整備の方向性について
 - (2) 報告事項
 - ① 第 49 回千葉県社会教育振興大会について
 - ② 公民館文化祭の視察について
 - ③ 生涯学習フェスティバルについて
 - ④ 各種審議会・協議会について
 - ⑤ その他
- 6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開、傍聴人なし
- 7 資 料
 - ① 木更津市立少年自然の家キャンプ場運営方針（案）
 - ② 今後の公民館整備の方向性について（案）
 - ③ 第 49 回千葉県社会教育振興大会開催要項（案）
 - ④ 平成 26 年度公民館文化祭（まつり）視察研修実施要項
 - ⑤ 木更津市生涯学習フェスティバル 2014 事業概要（予定）
 - ⑥ 第 49 回君津地方社会教育推進大会「大会決議」実現に向けての要望について（写）

8 会議の内容

事務局 それでは、これより平成 26 年度木更津市社会教育委員会議第 2 回定例会を開催いたします。出席者は、委員 18 名中、13 名です。社会教育委員会議運営規則第 3 条第 2 項の規定により、委員の 2 分の 1 以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。以上報告いたします。

それでは、開催に先立ちまして蘇我議長からご挨拶を申し上げます。

蘇我議長 皆さん、こんにちは。大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。最初に、ご挨拶する前にお願いがございます。前教育部長の能城さんが 29 日に逝去されました。哀悼の意を表しまして黙祷を捧げたいと思いますのでよろしくお願い致します。

「黙祷」、ご協力ありがとうございました。

さて、私事になりますが、来年の大河ドラマは「吉田松陰」ということで、山口方面に家族旅行に行ってきました。吉田松陰は、「夢なき者に成功なし」という言葉を残されましたが、それは、夢があるということは理想があるということ、理想があるということはそこに向かっていく計画があるということ、計画があるということは実行がある。だから、実行があれば成功する。したがって、「夢なき者に成功なし」だと学んできました。

私たち、社会教育委員がこれまで答申してきたものについても、ある意味、夢であったり、理想であったりと思っております。何とか良い方向に向かってほしいと、皆さんと口角泡を飛ばして議論してきた我々の理想が、その中に入っています。今日は、その理想に向けて計画を立案していくためのご説明があらうかと思っています。さらに、その計画がうまくいくには、一緒に力を合わせて様々な所に意見を申し上げたり、協力を依頼したりしながら実行し、そして成功へと向かっていくのではないかと思います。

今日は、事務局からの説明を聞いていただいて、自分の理想に向かっていく、自分の夢に向かっていくためのご発言をしていただければと思っています。本日もご協力をよろしくお願いします。

事務局 ありがとうございました。続きまして、初谷教育長からご挨拶を申し上げます。

初谷教育長 皆さん、こんにちは。能城前部長に対して哀悼の意を表していただき、ありがとうございます。私からも、心から御礼を申し上げたいと思います。また、いろいろご心配をお掛けしましたけれども、7月に鹿間新部長を迎えて、諸課題、諸難題に力強く取り組んでおりますので、引き続きご指導ご鞭撻をお願いいたします。

なお、今日の会議に先立ちまして、蘇我議長さんと石井、野中両副議長さんが、第49回君津地方社会教育推進大会の決議文をお届けくださいました。大会の決議文に掲げられている内容は、木更津市教育委員会が進めようとしていることや進めたいと思っていることと一致しておりますので、その実現に努力させていただきますと、お話ししました。

今、蘇我議長さんから、吉田松陰の言葉を借りて「夢、理想、計画、実行」のお話がありましたけれども、2年連続で大きな答申をいただきました。大変過酷なスケジュールでしたが、夜の審議を何度も重ねていただき、金田公民館を含めた公民館のあり方、キャンプ場の整備、今後の方向性について、「夢、理想、あるべき姿」を示していただきました。

本日は、皆さんからいただいた2つの答申について、教育委員会としての方針等を説明させていただいて、また、様々なご意見等を頂戴したいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

事務局 ありがとうございました。今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたします。

蘇我議長 よろしく申し上げます。

蘇我議長 それでは、ただ今から、平成26年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会を開催いたします。本日の内容は、事前に送付された資料のとおり、この間の、社会教育委員会議

の答申に対する教育委員会の方針や今後の方向性についての意見交換・協議でございます。本日の議論をもとに、更に内容を精査し、より良いものにしていくとことですので、積極的なご意見をよろしくお願いいたします。なお、議事終了議、報告事項もございまして、よろしくお願いいたします。

では、「少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について」、協議を行いたいと思いますので、事務局からご説明をお願いします。

事務局

説明

蘇我議長 事務局から「木更津市立少年自然の家キャンプ場運営方針（案）」について、ご説明がありました。委員の皆さん、いかがでしょうか。

石井委員 平成 27 年度から 30 年度までの当面のキャンプ場の利用期間延長は、月単位でなければいけないのでしょうか。7 月 1 日から 9 月 30 日までとなっておりますが、9・10 月は連休があり、お出かけされる方が多いと思います。10 月の第 3 週も 3 連休になりますので、ちょっと半端になるかも知れませんが、10 月 15 日までとすると効果的になるのではないかと思いますので、要望します。

事務局 事務局といたしましても、もう少し期間を延ばしたいのですが、予算の関係等で財政当局との調整の結果、まず 3 年間はこの期間で、この範囲の金額で行ってみたいということになりました。現在、ご説明した期間で指定管理者の手続きを進めている状況ですのでよろしくお願いします。

蘇我議長 他に何かございますか。

榛沢委員 やはり、行政的には予算が重要かも知れませんが、使う側としては、使いやすいような形にさせていただくのが一番かと思います。

武田委員 利用促進の関係ですが、木更津市のキャンプ場なのに市内の学校にあまり利用されいません。もっと学校関係が使えるようにしていただければと思います。

伊藤委員 百人規模で学校の児童が利用するとなると、雨が降った場合でも集まって活動ができる施設等がないと、なかなか厳しいと思います。答申案検討小委員会の中でも議論になりましたが、学校関係が利用できるようにするには大規模な環境整備が必要になってくるので、長期的な視野の中で考えていただければと思います。

地曳委員 平成 27 年度から平成 30 年度の 4 年間でまず期間延長や PR 等を図り、平成 31 年度からの 12 年間で更に大規模なキャンプ場の改修等を検討していく、という方針だと理解しましたが、もし、この 4 年間で成果が出なかった場合、先の事業がどうなるかが心配です。例えば、4 年間に少なくともこれぐらいのキャンプ場の利用者を増加させる等、実現可能な年次目標を作って欲しいと思います。良いことづくめの方針なのですが、冷静に対応していかないと、次の計画が順調に進まない危険性もあるのではないのでしょうか。

事務局 教育委員会としては、現在、この 4 年間で必要な経費を要求している状況です。今後、

アンケート等により利用者の声や意見を反映させながら、年次ごとに進めていきたいと考えております。今年度子ども会が行ったデイキャンプでは、2日間で延べ700人が参加しました。このようなニーズがあるということですので、子どもたちが自然の中でふれあう機会を意図的に増やしていくために、キャンプ場の整備を含め、青少年の自然体験活動を推進していかなければならないと考えています。

ここ1~2年、以前よりPRに力を入れる中で、利用者数は若干増加傾向となっております。開場期間延長やPRを更に強化する中で、今後の4年間でいかに利用者を増やす取り組みをすることができるのかにかかっていると思います。現時点では、あくまでも教育委員会としての運営方針なので、この後、市として予算化や計画への位置づけ等を行う中で、どれくらいの来場者数を目指してやっていくか、というような目標の設定も必要な場面もあるかと思えます。また、利用者数の増加もそうですが、本当に必要な施設かどうかをこの4年間の中で検討しながら、次の中長期につなげていかなければならないと思います。

蘇我議長 この4年間で、例えば、公民館の事業として取り組んでもらうとか、子ども会のリーダーや青少年相談員の皆さんに活用方法を検討してもらうようお願いするとか、ニーズに対して具体的な答えが出るような行動をしていかななくてはいけないと思います。正に「実行」です。キャンプ場の敷地をこれから20年借りことになる訳ですから、これからの4年間は、市民の方々が喜んでいただける施設になるようにするために、具体的な施策をする期間だと思いました。

他にご質問、ご意見等がありますか。

野中副議長 「キャンプ場」というと宿泊するというイメージがあると思うのですが、日帰りのデイキャンプでの利用を促進するのも有効だと思います。まず、気軽に利用してもらうことが大切です。そうした中で、今度は泊ってみようかということにもなると思います。

事務局 現在も、キャンプ場を日帰りで使っていただくこともできます。また、公民館の事業や生涯学習課のキャンプ場利用促進事業として、日帰りで飯ごう炊さんや竹細工の体験など、キャンプ場を気軽に使っていただけるような取り組みもしております。もっと自由に、気軽に、使っていただけるようなPRを進めていきたと思います。

蘇我議長 他にご質問、ご意見等がありますか。

石井副議長 キャンプ場の利用促進のための積極的なPRについてですが、お恥ずかしい話、私自身、キャンプ場があるのは知っていましたが、最近まで行ったことがありませんでした。関心がある人はホームページなどから情報を得ることができますが、関心のない人たちをどう掘り起こしていくかが今後の課題だと思います。例えば、キャンプ場で「鳳神ヤツルギ」の撮影会を行ったり、保育園とタイアップして事業を行ったりするなど、多くの世代の人たちが認知できるよう、様々な方法を工夫していく必要があると思います。広報や市のホームページなどは、とかく堅い表現になってしまいがちな感じもするので、もっと頭を柔らかくしてやっていただきたいと思います。

事務局 答申の中にもあったと思いますが、小学生になってから、キャンプ場に行くのではなく、できれば小さい時から親子で自然にふれあうことが重要だと思います。現在、保育園、幼稚園などへのPRはあまり行っていませんので、その辺なども考えながらやっていきたいと思っています。

蘇我議長 かずさFMの社長の石村さんから教えてもらったのですが、最近は携帯電話を利用してFMラジオの実況放送もできるのですね。「現場から報告します」みたいに、そうしたメディアも活用できるのではないのでしょうか。

他にいかがでしょうか。

青木委員 キャンプ場の施設整備の中で、補修の予算関係はこれからなののでしょうか。平成27年度から進められる状態なののでしょうか。

事務局 単年度予算が原則ですので、実際の予算は毎年毎年の予算編成の中で決定していくことになります。これからの4年間でそれなりの予算が確保できるよう、市の計画での位置づけを目指して動いているという状況です。

蘇我議長 ありがとうございます。それでは、「少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について」についての協議は、以上をもって終了いたします。

続きまして、「今後の公民館整備の方向性について」の協議に入りたいと思います。事務局からご説明をお願いします。

事務局

説明

蘇我議長 事務局から「今後の公民館整備の方向性について（案）」について、ご説明がありましたが、委員の皆さん、いかがでしょうか。

宮崎（恵）委員 無料原則についてですが、以前もこのことについて話し合ったことがあったと思いますが、これは決まったことなののでしょうか。

事務局 これらの「公民館の地域配置等の基本原則」は、今まで木更津市の公民館を運営するにあたって大事にしてきたものです。無料の原則については、子どもからお年寄りまで、誰もが、自由に学ぶことができるよう、条例で公民館の「使用料は無料にする」と定めております。

宮崎（恵）委員 公民館の耐震化や公民館主事の設置等、緊急な課題がたくさんある中で、費用をどこから捻出するのか、心配になる気持ちもあるのですが。

事務局 教育委員会としては、この無料の原則を大事にしながら、これからも進めて行きたいと考えています。

地曳委員 金田公民館の建設がどう進んでいるのか、報告をいただきましたが、財政を圧迫するような事態になった場合、ある程度料金を徴収してなるべく財政負担を少なくするというような考え方はないのでしょうか。公民館をあまり利用しない市民からすると、やはり、少しは公民館を利用する人の利用者負担があってもよいという考えはあると思いますが、どうお考えですか。

事務局 財政が厳しいので、そういう考えもあると聞いておりますが、基本的には誰でも、いつでも学べるような推進体制を作っていくことが大切だと思います。例えば、公民館でサークル活動をしている人たちは、もちろん、自分自身の学習のためということもありますが、人と人がつながりながら地域の課題を皆で解決していくために、サークル活動の意味があると考えております。公民館で学ぶということは、地域全体が良くなっていく、最終的に恩恵を被るのは地域なのだと思います。人と人がつながっていくことが、地域をより良くし、それが、住み良い生き甲斐のある街づくりにつながっていくものと思っております。

地曳委員 普段、あまり社会教育とは関係のない人たちにもきちんと理解してもらうような努力、発信が必要なのではないかとということで、あえて質問させていただきました。金田公民館の建設のためにどの程度の予算を要求しているのか分かりませんが、大規模な施設の建設事業をやるには、より一層、公民館が無料であることを広く市民に訴えかける努力、広報・PRをしていかななくてはならないと思います。

蘇我議長 地曳委員の思いもお分かりいただけたのではないかと思います。

それでは他に何かございますか。

吉田委員 この資料を見て、5 公民館の耐震診断がまだ終わっていないことにびっくりしました。昨日の台風でもそうですが、各公民館は地域の避難所となっていますので、早急に耐震診断を行って、必要な耐震補強工事をしていただきたいと思います。

今、地曳委員が言われたことを考えると、八幡台公民館では、「生涯学習」だけではなく、お年寄りの健康づくりなど様々な事業を行っています。また、公民館を中心に、他の様々な部署と連携しながら事業を展開していくことで、地域が更に活性化していく可能性があると思います。そうすれば、現在公民館を使っていない人も、将来、利用するようになるかも知れません。公民館をもう少しきちんと整備していこうという思いも湧き上がってくるのではないかと思いますので、公民館でやっている事業の内容をもっとPRした方が良いと思います。また、当初は中学校区を原則とした生活圏へ公民館配置がされてきましたが、今後、高齢化が更に進行する状況を考えると、公民館配置についても再考が必要ではないかと思います。

地曳委員 平成 50 年代にはほとんどの公民館が建設後約 60 年を迎えるので、当然、建て替えをしなくてはならないと思います。これまでの公民館の配置、16 公民館体制というものは、今後どうなるのでしょうか。このまま人口減少が進んでいくと、地区によっては中学校区として機能しないという状況も想定されます。また、人口急増地域等では、新たな大規模公民館が必要になってきます。次の基本構想を練る段階では、人口減少や財政状況等、様々なことを想定して検討していく必要があるように思います。

事務局 人口減少や財政状況、学校配置などの問題があると思いますが、来年度から 4 年間で、中長期の大きな骨格的になる部分についての計画を策定していきたいと考えています。そして、平成 31 年度以降に実施していきたいという方針です。

地曳委員 私の懸念ですが、人口減少というのが非常に大きな課題です。たまたま地元の公民館で、

高齢化によってサークルが 2 つ減少したという話を聞いたのですが、これから更に高齢化が進むと公民館の様相が変わっていくのではないかと思います。

蘇我議長 今、地曳委員が心配されている様なことも含めながら、平成 30 年度までに中長期計画を練っていくということでよろしいですね。

忘れていましたが、前回の会議で、金田公民館の建設に関わる件について宿題をいただいていたのですが、それはどうでしょうか。

事務局 前回の社会教育委員会議で、国からの交付金を活用して金田公民館を建設するためには、9 月補正で予算が認められないと難しいという説明をさせていただきましたが、結果的に、予算化はされませんでした。しかし、9 月議会の中での副市長の答弁により、建設に向けある程度見通しが立ったという状況です。

蘇我議長 皆さんからいただいた宿題に関しては、まず、副議長と一緒に教育委員会会議へ出席し、社会教育委員としての要望をお伝えしました。また、議長として、市長に直接お会いしてお願いすることができましたことをご報告させていただきます。これは、一番最初にお話ししなくてはいけなかったのですが、現在、そういうことで進んでおります。

他に、金田公民館の方向性について何かございますか。

榛沢委員 金田公民館のことではないのですが、請西・真舟地区の人口が急増しております。今、請西南集会所と真舟集会所がありますが、1 ヶ月びっしりサークルの利用が入っています。是非、早急に新しい公民館の建設に向けて検討を進めていただきたいと思います。

蘇我議長 他にいかがでしょうか。

石井副議長 先ほど、地曳委員から、人口減少についてのお話がありましたけれども、鎌足地区もそういう状況です。そんな中であって、公民館の職員の皆さんには、小学校、中学校、保育園、幼稚園などを含めて地域全体で地域を盛り上げる、人を呼び込むような形の公民館活動といったものを検討してほしいと思います。それこそ中長期的には人口減少が進むものとしても、何かソフト面で人口減少に歯止めを掛けるような活動を考えていけたらと思います。

蘇我議長 それでは、今後この方向で進め、計画ができた後は、皆さんも様々な所で実行に協力していただくということで、よろしくをお願いします。「今後の公民館整備の方向性について」の協議は、以上をもって終了いたします。

蘇我議長 続きまして、各種審議会・協議会についての報告に入りたいと思います。委員の皆さんから報告事項があればよろしくお願いします。

宮崎（恵）委員 7 月 24 日、平成 26 年度木更津市男女共同参画推進委員会が開催されました。内容としては、委員長と副委員長の選出がありました。その後、木更津市男女共同参画計画の計画事業に関わる平成 25 年度の結果報告がありましたが、その中で、生涯学習情報誌への男女共同参画計画関係の情報提供の問題が出されました。

蘇我議長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

李 委員 6月26日、青少年関係機関団体の委員が参加し、青少年問題協議会が開催されました。その中で、木更津市の青少年問題の相談件数が一昨年より30件増え、千葉市を除いて6番目となったこと、スマホの時代を迎えLINE等への対応の話が印象的でした。

蘇我議長 ありがとうございます。続きまして、報告事項に入りたいと思います。事務局からご報告をお願いします。

事務局

第49回君津地方社会教育推進大会について
公民館文化祭の視察について
生涯学習フェスティバルについて

蘇我議長 ありがとうございました。他に、委員の皆さんから報告事項、質問等ございますか。特にないようですので、私から2点報告させていただきます。

まず、9月28日に木更津市青少年相談員連絡協議会の50周年記念式典に、社会教育委員を代表して出席しました。感想ですが、記念誌に青少年相談員の皆様のお名前がありますが、本当に、今、木更津を背負っていらっしゃるような立場にいる方々も、若かりし頃青少年相談員としてボランティアをやられており、やはり、そういう所が木更津の強さではないかと思いました。もう一つ言えることは、地元の方だけではなく、移り住んできた方が青少年相談員として活躍され、今では、どっぷりと木更津人になられている方が沢山いらっしゃるのです、やはり、50年の歴史はすごいと思いました。

次に、来る11月1日に畑沢公民館が30周年を迎えられるということで、招待状が来ていますので、出席したいと思います。

蘇我議長 それでは、以上を持ちまして、平成26年度社会教育委員会議第2回定例会を閉じさせていただきます。皆さんの協力で本日の定例会を無事終了することができました。ありがとうございました。

事務局

長時間にわたり貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

また今後とも、本市の社会教育活動推進のため、委員の皆さんにはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

なお、次回、第3回定例会につきましては、来年1月を予定しております。期日が決まり次第、早めにご連絡したいと存じますのでよろしくをお願いいたします。